

第 5 次加西市総合計画 (案)

平成 22 年 11 月 24 日現在

【目 次】

第1部 序論	1
1 総合計画策定の趣旨	2
2 総合計画の構成と目標年次	3
3 加西市の概要	4
（1）位置・地勢	4
（2）沿革	4
（3）地域特性	4
4 加西市をとりまく社会の動き	5
（1）少子高齢化の進展	5
（2）地球環境への関心の高まり	5
（3）新たな担い手の創造	5
（4）地域主権の時代	5
5 第4次加西市総合計画の評価と検証	6
6 まちづくりの主な課題	7
（1）人づくり	7
（2）産業	7
（3）暮らし	7
（4）環境	7
（5）住民参画	7
第2部 基本構想	9
1 基本目標	10
2 基本政策（4つの視点）	11
3 政策と施策の体系	12
4 将来人口	14
（1）将来人口推計	14
（2）人口減少の影響と対策	15
5 土地利用構想	16
（1）土地利用の基本方針	16
（2）土地利用の考え方	16
6 計画の実現に向けて	18
（1）多様なパートナーシップの構築	18
（2）健全な市役所経営	18
7 予算編成との連動	19
8 評価・検証	20
第3部 基本計画	21
政策1 明日を担い未来へつなげる人づくり	23
政策2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	31
政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	37
政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	45
政策5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり	53
政策6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	59
政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり	65
政策8 循環型社会をめざす生活環境づくり	69
政策9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西	77
政策10 健全な行財政運営の確立	81

第 1 部 序論

1 総合計画策定の趣旨

総合計画は、加西のまちづくりの基本となる最も重要な計画で、様々な計画の上位計画となるものです。市の将来像を設定し、その実現に向けて、住民はもとより市役所、企業、NPO（民間非営利活動団体）など、加西市内の様々な主体が、これから取り組むべき方向を示すものです。

少子高齢化や地球温暖化などに象徴されるように、社会・経済・産業は大きな転換期を迎え、将来予測とその対応には長期の展望が求められる時代となっています。

今回策定する「第5次加西市総合計画」は、このような社会情勢の変化を背景に、複雑・多様化する地域のニーズや市民意識の変化を踏まえ、改めてまちづくりの方向を問い直し、30年先の加西のあるべき姿を見据え、到達すべき目標からさかのぼって最初の10年間にやるべきこと、できることをまとめ上げたものです。

本計画は、住民が暮らしやすい、住み続けたいと感じるまちづくりをめざして、住民と行政の知恵を集結しながら、「地域」主体の将来像を提案し、その実現をめざすものです。

将来から今を創造する

やるべきこと できることを示す

住民みんなの計画

2 総合計画の構成と目標年次

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画によって構成されています。

基本構想は、加西がめざすべきまちづくり像と基本的な方向性を明らかにしたもので、平成32年度を目標年次とします。

基本計画は、基本構想を実現するための施策を示したもので、平成23年から平成27年の5年間の前期、以降の5年間の後期とし、中間年度（平成27年度）に見直します。

実施計画は、基本計画に示した施策や事業の中から財政状況や社会情勢を考慮して選択し、実施する計画で、毎年予算の指針となるものです。向こう3カ年の計画として毎年見直しを行います。



3 加西市の概要

（１）位置・地勢

加西市は、兵庫県の南部、播州平野のほぼ中央に位置するとともに、中国自動車道や山陽自動車道の国土幹線上に位置し、大阪から自動車ではほぼ1時間圏という恵まれた立地条件を有しています。

市の北部には、古生層の山地（海拔300～500m）が連なり、中国山地の裾野を形成しています。そこに源を発する万願寺川、普光寺川、そして下里川の3河川は、丘陵・段丘面を刻み沖積低地を形成しながら万願寺川に合流し、さらに加古川に合流しています。

また、市の中央部を流れる万願寺川の東側には広大な青野ヶ原台地が、西側には鶉野台地が広がり、播磨内陸地域最大の田園を中心とした平坦地を形成しています。特に、この一帯はため池が数多く点在し、県下でも有数の密集地帯であり、水と緑豊かな田園空間の演出に役立っています。一方、市の南部は、中世代の火山活動で形成された凝灰岩類、流紋岩類を母岩とする山地（海拔200～250m）を形成しています。

（２）沿革

明治22年の市町村制施行によって、加西市の母体となる加西郡は、北条町、富田村、賀茂村、下里村、九会村、富合村、多加野村、西在田村、在田村、芳田村（昭和27年西脇市に合併）、大和村（昭和29年八千代町に合併）の1町10村に再編成されました。さらに、町村合併促進法制定後の昭和30年1月15日に、北条町、富田村、賀茂村、下里村の1町3村が合併して「北条町」となりました。次いで、昭和30年3月1日には多加野村、西在田村、在田村の3村が合併し、「泉町」となり、さらに昭和30年3月30日には九会村、富合村の2村が合併し、「加西町」となりました。

昭和42年4月1日に、北条町、泉町、加西町の3町は、「加西郡は一つ」という理念のもとに合併し、県下21番目の市として現在の加西市が誕生しました。

（３）地域特性

①自然豊かな田園が広がる花と緑の都市

大都市近郊にありながら、日本の原風景というべき田園やため池、里山、さらにはフラワーセンターの存在は、自然との共生が求められる時代においてかけがえのない、また、大切に守り育てるべき資産といえます。

②歴史的・文化的資産が豊かな都市

歴史・文化環境として玉丘古墳、法華山一乗寺、五百羅漢、小谷城跡、鶉野飛行場跡などの伝統的・歴史的な資産の蓄積があり、伝記の掘り起こしやPR、ネットワーク整備により、観光資源として活用できる可能性をもっています。

③国土幹線上に位置する立地の良い都市

大都市近郊に位置し、中国道・山陽道で大阪から車で1時間というアクセス条件は、産業立地、生活利便性において大きな飛躍が期待できる環境といえます。

④気候温暖で住みやすい都市

年間を通じて雨が少なく、日照にも恵まれた温暖な気候であり、高齢者にとっても安心して生活できる居住環境といえます。

4 加西市をとりまく社会の動き

（１）少子高齢化の進展

我が国の総人口は平成16年（2004年）の約1億2,780万人をピークに減少局面に入り、今後本格的な人口減少社会を迎えることになります。

加西市の平成15年の総人口は51,426人（10月1日現在 住民基本台帳人口及び外国人登録者数）でしたが、以降は減少傾向にあり、平成21年には48,774人（10月1日現在）となっています。また、高齢化率の上昇（平成15年は21.4%、平成21年は24.9%）と、全国平均に比べて低い合計特殊出生率¹（平成20年は1.15、外国人を除くと1.21）が示すように、少子高齢化は深刻な問題となっています。

（２）地球環境への関心の高まり

環境問題の解決には、産業部門や行政の努力だけでなく、住民一人ひとりが限りある資源やエネルギーの有効活用、貴重な自然環境の保全について考え、足元からライフスタイルを見直していくことが求められています。

加西市においては、環境基本計画を策定し、市・住民・事業者が責務と役割を分担しながら、環境の保全と創造に取り組んでいます。

（３）新たな担い手の創造

従来行政が担ってきた範囲にとどまらず、新たな公共の役割をNPO、ボランティア団体、民間企業、大学など多様な主体が担いつつあり、住民参画の拡大が見られます。

加西市においては、地域の課題を住民が主体的に解決していくための仕組みづくりが構築されつつあり、これをさらに広げるため、近隣市町との連携、地域性を重視した施策の展開、様々な地域活動への支援、人材育成、人と活動をつなぎ合う取り組みが求められています。

（４）地域主権の時代

本格的な地方分権の時代に突入し、地方自治体においては地域の個性を生かしたまちづくりが必要です。地域のことは地域で責任を持って決める自治を推進するため、住民や企業と行政が連携してまちづくりを進めることが必要です。

加西市においては、厳しい財政状況の下、地域主権の確立に向けた財政規律の維持と効率的な行政運営が求められるとともに、住民の視点にたった目標をかけた実行のための仕組みづくりに取り組む必要があります。

¹人口統計の指標で、一人の女性が一生に産む子供の数の平均値を示します。この指標によって、人口の自然増減を比較分析ができます。

5 第4次加西市総合計画の評価と検証

前計画に掲げられた取り組み項目は全部で992項目ありました。前計画には数値目標の設定がないため、992項目全ての進捗状況を検証したところ、次の結果となりました。

全体進捗率は992項目についての達成度合いを「100%（完了・終了）」、「75%（概ね達成）」、「50%（進行途上）」、「25%（進捗の遅れ）」、「0%（未着手）」の5段階で評価し、施策の柱ごとに集計して平均値を求めています。

施策の柱	項目数	実施事業数	全体進捗率
1 いきいき個性あふれる人づくり	205項目	151事業	46%
2 安心して生活できる健康づくり	153項目	132事業	58%
3 安全で豊かに暮らせる環境づくり	145項目	118事業	48%
4 活力ある産業づくり	211項目	138事業	46%
5 次世代を支える基盤づくり	159項目	106事業	43%
6 市民と行政の協働による計画実現に向けて	119項目	96事業	56%
計画全体	992項目	741事業	49%

全体の進捗率が49%と低い結果となったのは、下水道事業や市街地再開発事業等の大型プロジェクトに予算が集中したこと、策定5年目の中間見直しが実施されなかったことにより、社会経済状況等の動向を踏まえた軌道修正ができなかったことなどが要因です。

第5次計画においては、こうした振り返りを踏まえ、選択と集中により、30年後の加西市を見据え、予算に無理なく今後10年間で必要となる施策・事業等を目標値で評価できるよう策定します。

また、基本計画や実施計画の見直しは目標年次に合わせて実施します。

6 まちづくりの主な課題

住民によるまちづくりにおける課題について、一般市民39人で構成する市民参画ワークショップや、市内で活動する様々な団体へのグループインタビュー、市役所内プロジェクトからの意見をもとに、主なものを以下にまとめました。

(1) 人づくり

- ・おとなも子どもも、地域と、地域の資源に誇りを持てるような教育をしたい。
- ・文化活動にもっと力を入れていきたい。
- ・おとなも子どもも高齢者も、全ての世代が共に過ごし共に育む環境をつくりたい。

(2) 産業

- ・特産品を開発して「かさい」をブランド化したい。
- ・若い農業生産者を育てたい。
- ・様々な企業、団体、住民が農業に関わって「集落力」を復活させたい。
- ・自らを磨き自分のやりたい仕事に就くための環境と情報を整えたい。

(3) 暮らし

- ・子育て世代に住んでもらえるようなまちにしたい。
- ・通勤、通学や買い物、通院への交通を便利にしたい。
- ・高齢になっても健康を保ち、自分の家や地域で暮らし続けたい。
- ・気軽に立ち寄れる地域の交流の場をつくりたい。

(4) 環境

- ・身近な自然環境にふれる機会を増やしたい。
- ・エネルギー自給力のある地域づくりを進めたい。
- ・環境教育にもっと取り組みたい。

上記4つの課題を解決するには、住民が自身の課題として捉え、積極的に関わっていく住民参加によるまちづくりが必要です。この点に関してグループインタビューやワークショップの中で出された主な意見をまとめました。

(5) 住民参画

- ・女性の視点をもっとまちづくりに取り入れたい。
- ・若者が主体的にまちづくりに参加できる環境をつくりたい。
- ・地域コミュニティ、企業、ボランティア、市民活動団体などのネットワークを広げたい。
- ・様々な文化を理解し、共感できるまちにしたい。

第 2 部 基本構想

1 基本目標

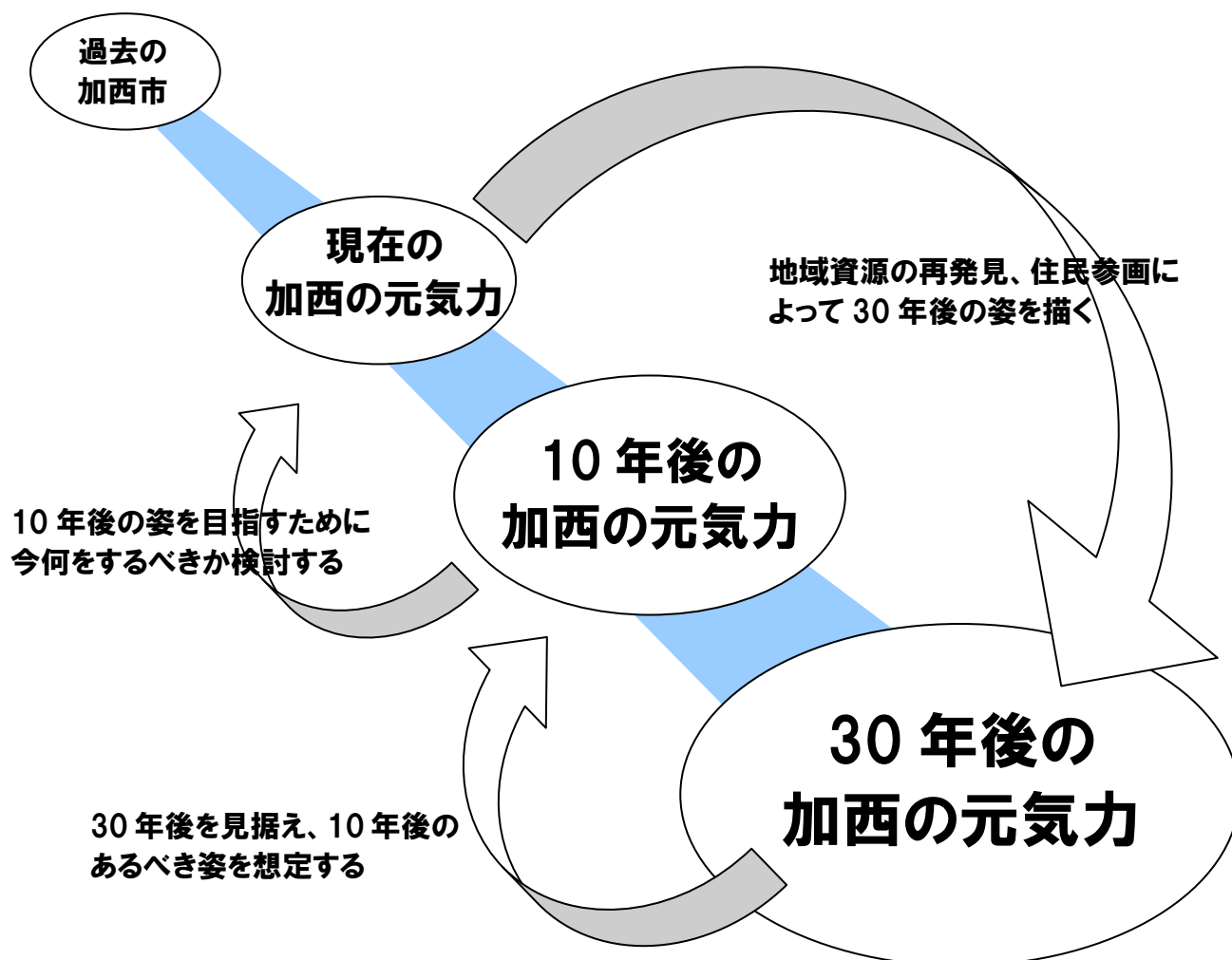
加西の元気力 加西の良さを活かした元気力の追求

総合計画の基本目標とは、私たちみんながめざすまちの将来像です。

これからは、今日よりも明日がさらによい日であるように、将来も健康で、みんなの元気が加西にあふれるまちをめざしていきます。

加西を元気にするには、地元企業の技術力や人材、そして農産物や歴史資産や観光資源を再発見し、活用することが大切です。

「加西の良さを活かした元気力の追求」に向けて、住民をはじめ、市役所、企業、NPOなど、加西市内の様々な主体が手を取りあって、まちづくりを進めていきます。



2 基本政策（4つの視点）

加西がめざすまちの将来像（基本目標）を実現するために次の4つの視点から基本政策を掲げます。



人づくりの視点 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

加西の将来の元気を創っていくのは今の子どもたちです。子どもたちが「加西で育ってよかったなあ」と思える子育て支援や学校教育、地域の世代間交流を充実します。

【30年後の姿】加西で育った人が、加西を誇りに思い、定住し、加西の各地域で盛んに活動し、「加西に住んでよかったなあ」と思えるまち。



産業の視点 雇用と経済が元気を取り戻す加西

産業は加西の元気の源であり、安定した働き場所を確保することは定住人口の増加にもつながります。ヒト・モノ・カネが地域に回るように事業者の育成、誘致、そして地域ブランドの開発やPRにも取り組みます。

【30年後の姿】加西の農商工の連携がとれ、加西の住民が、加西で生産し、加西で加工し、加西で販売できる雇用と経済が元気なまち。



暮らしの視点 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

加西にとって、市民が元気に暮らしていることが最も大切なことです。元気に暮らすとは、自分で歩き自分で日常生活ができることです。子どもからお年寄りまで、誰もが安心して元気に暮らせるまちづくりをめざします。

【30年後の姿】おとなも子どもも、高齢者も障がい者も、生まれ育った人も新しい住民も、みんながともに協力、理解し合って元気に暮らせるまち。



環境の視点 地球に優しい環境社会をつくる加西

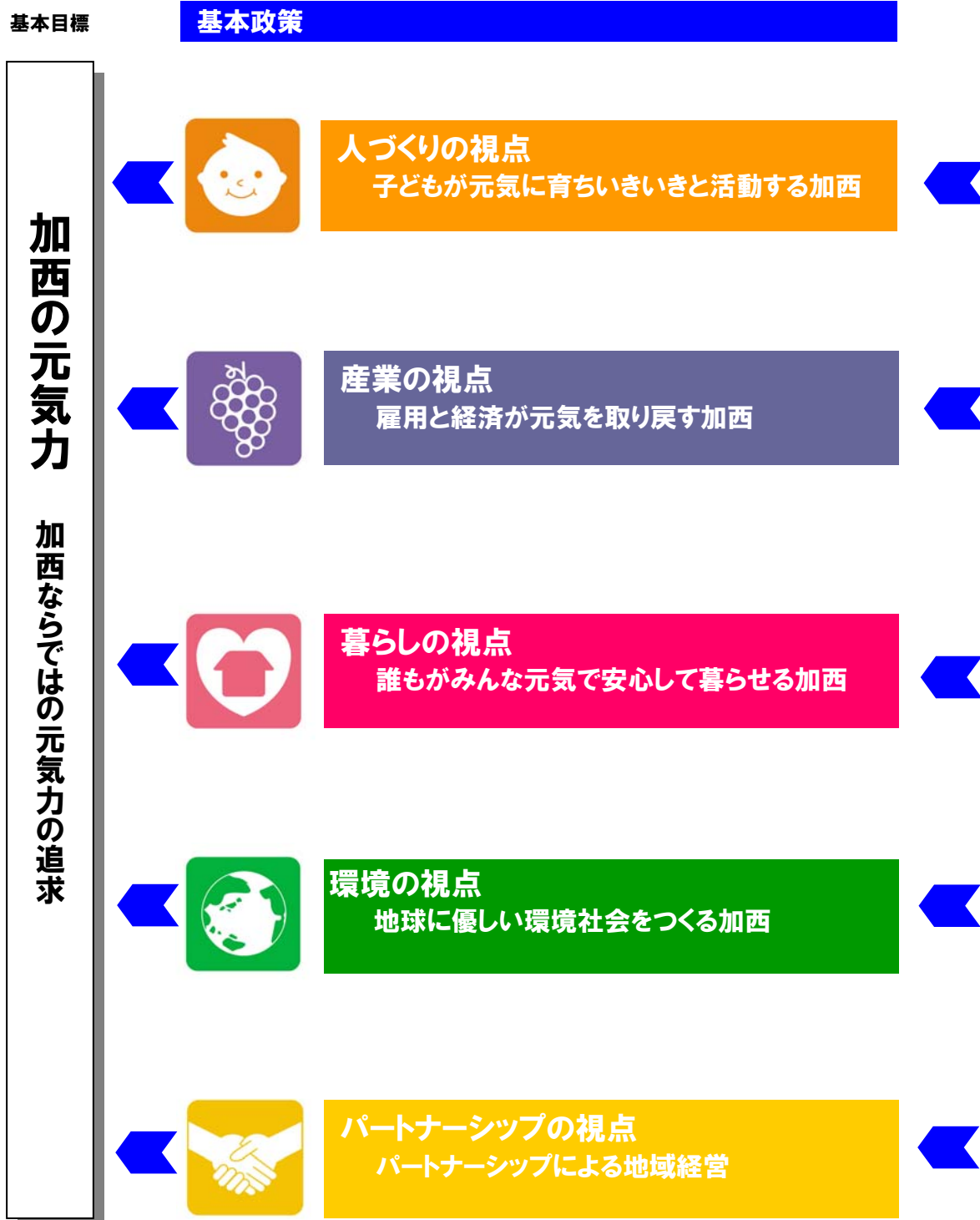
私たちが暮らす加西の自然環境は、私たち自身で守り、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。環境教育、自然体験などを通じて、住民による自然環境の保全や資源循環型社会のまちづくりを進めます。

【30年後の姿】自然環境を大切にしながら加西の景観と自然エネルギーを活用した山も田畑も、水も空気もきれいなまち。

3 政策と施策の体系

政策と施策の体系図

基本政策は、基本目標を実現するための政策と施策で構成されています。





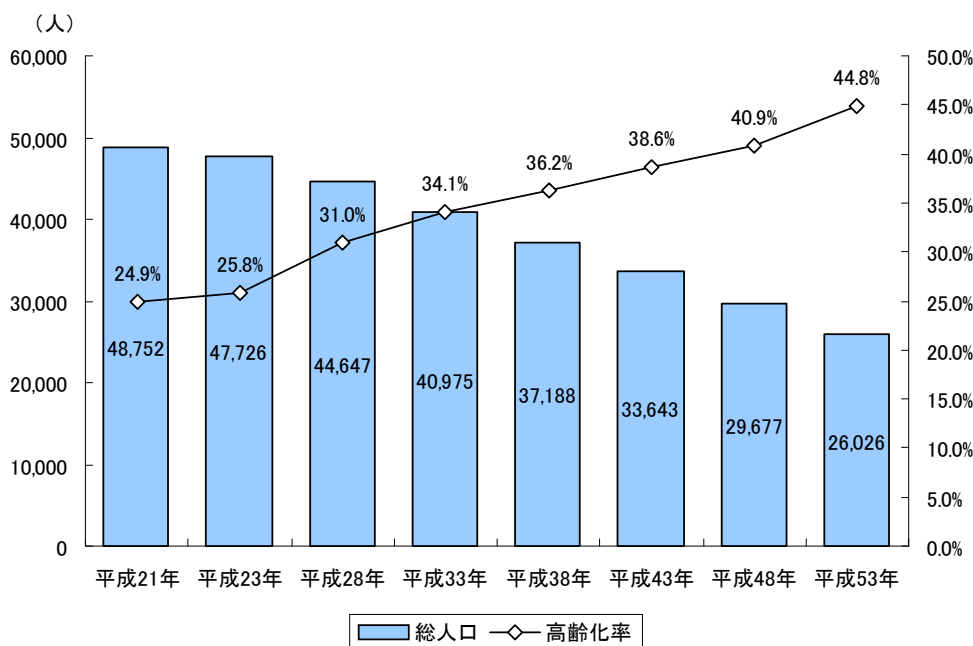
施策	
政策 1 明日を担い 未来へつなげる人づくり	施策 0 1 誰もが学べる学習環境づくり 施策 0 2 主体的な青少年活動 施策 0 3 地域で楽しめる体力づくり 施策 0 4 出会いを求める若者の応援
政策 2 郷土に誇りを持てる 家庭・学校・地域の輪づくり	施策 0 5 特色ある教育 施策 0 6 安全で快適な学校づくり 施策 0 7 地域に開かれた学校づくり
政策 3 地域の豊かさと元気を 取り戻す産業づくり	施策 0 8 農業の担い手育成 施策 0 9 地域資源を活用した産業振興 施策 1 0 加西に住んで働ける就労支援 施策 1 1 加西らしい観光の推進
政策 4 都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり	施策 1 2 魅力ある中心市街地の形成 施策 1 3 周辺地域の定住促進 施策 1 4 公共交通網の構築 施策 1 5 住みよい住環境づくり
政策 5 誰もが最期まで元気に 暮らせる健康づくり	施策 1 6 社会参加を通じた生きがいづくり 施策 1 7 ところとからだの健康づくり 施策 1 8 地域医療体制の充実
政策 6 身近な幸せを実感できる 安全と安心の暮らしづくり	施策 1 9 地域で支え合う安心の暮らし 施策 2 0 防犯・防災のまちづくり 施策 2 1 安心できる子育て支援
政策 7 自然環境の保全と 特色ある景観づくり	施策 2 2 自然と共生する里地里山づくり 施策 2 3 加西の風土を活かした景観づくり
政策 8 循環型社会をめざす 生活環境づくり	施策 2 4 省エネ・蓄エネ・創エネの推進 施策 2 5 水環境のまちづくり 施策 2 6 ゴミ減量と資源リサイクルの推進 施策 2 7 環境学習の推進
政策 9 住民参画・男女参画で 地域を元気にする加西	施策 2 8 情報公開と住民参画のまちづくり 施策 2 9 ダイバーシティ社会の実現
政策 10 健全な行財政運営の確立	施策 3 0 行政サービスの向上と効率経営

4 将来人口

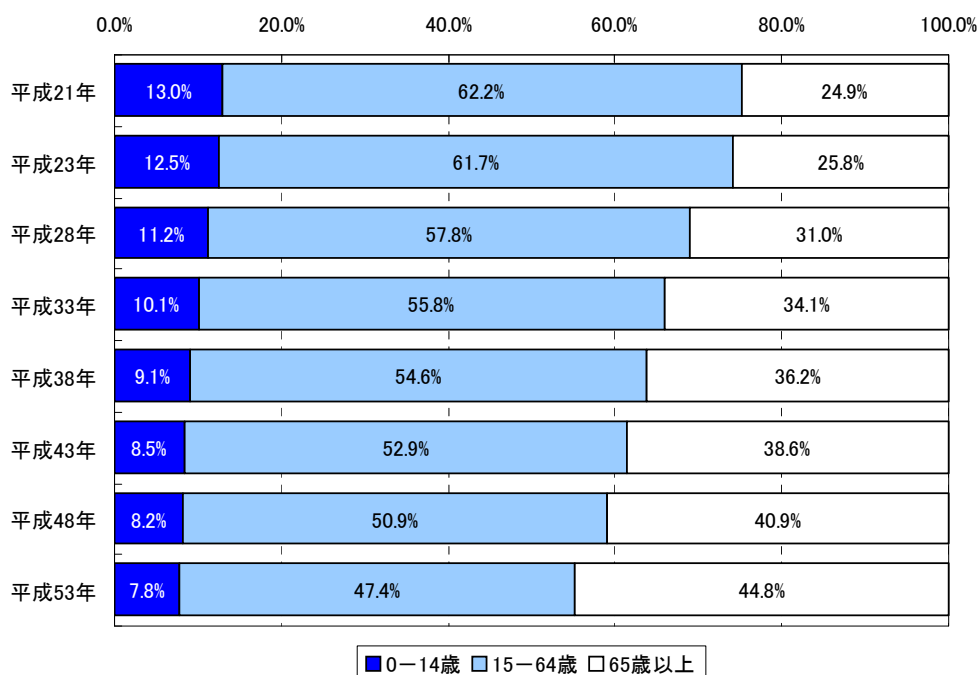
(1) 将来人口推計

将来人口推計はこれからのまちづくりを考える上で最も基礎的な基準となります。平成18年から平成21年の住民基本台帳のデータを用いた将来人口推計は、以下のようになります。

① 総人口と高齢化率の推計



② 年齢3区分別人口比率の推計



(2) 人口減少の影響と対策

加西市の人口は今後も減少傾向が続くものと思われます。将来のまちづくりを考えるには、人口減少による社会構造の変化とその影響に正面から向き合い、効果が見込まれるものについては総合計画に基づき優先的に対策を講じる必要があります。

人口構造上、出生数の増加には転入者の増加、転出者の減少が必須であり、それを実現させるため、子どもからお年寄りまで、誰もが暮らしやすい、働きやすいと思える都市の魅力「加西の元気力」を創造します。

① 人口減少対策

	変化・影響	対 策
雇用	・ 労働力不足 ・ 労働力の高齢化 ・ 女性の就業機会拡大	・ 高齢者や女性の労働力確保 ・ 高齢者の就労環境と条件の整備 ・ 育児休業制度の普及 ・ 保育所などの育児サービスの充実
教育	・ 児童数、学級数の減少 ・ 子育て経験、地域における伝統文化等の伝承、共有が困難 ・ 集団を前提とした教育活動、学校行事、部活動への影響	・ 学校、地域、家庭の連携強化 ・ 小中学校の再配置
土地利用	・ 市街地の空き家、未利用地の拡大 ・ 農家の後継者不足 ・ 耕作放棄地の増加	・ 旧市街地の暮らしの場の再生 ・ 市街地のコンパクト化と用途混在化 ・ 農地の集約化、農業の大規模化
財政	・ 医療費、社会保障給付費の増大 ・ 税負担の増大	・ 受益と負担の是正 ・ 介護予防の推進、健診率の向上 ・ 市立加西病院の経営支援
地域	・ つながりの希薄化 ・ 地域活動の参加率の低下	・ 地域を支える担い手の育成 ・ 地域交流による緩やかな関係性の創出

② 人口減少の抑制・増加に向けた対策

	行政の役割	住民・企業の役割
転出減 転入増 出生増	・ 若者の就労支援 ・ 子育て支援策の充実 ・ 市街化区域の土地流動化策 ・ 特別指定区域制度²の活用 ・ スtock住宅³の活用 ・ 企業誘致 ・ 民間開発を促す土地情報の提供 ・ 魅力ある小中学校、高校の確立 ・ 通勤圏が広がる公共交通の整備 ・ 医療機関、医療従事者の誘致 ・ 未婚者支援	・ 若者の雇用拡充、確保 ・ 雇用環境の拡充 ・ 女性の雇用、登用 ・ 土地・建物の流動化 ・ 未婚者の相談、支援 ・ 2世代、3世代による住まい ・ 転入者に対する地域の受入れ促進 ・ 地域の魅力を伝える子どもへの教育
死亡減	・ 介護予防対策 ・ 健康づくり、食育推進 ・ 高度医療、専門医療の充実	・ 健康診断の利用 ・ 健全な食生活の実践 ・ 健康づくり ・ 地域内の交流活動

² 市街化調整区域内であっても、地域住民が中心となって作成した土地利用計画をもとに、指定の区域内では、必要な住宅等を新たに建築できる県の制度。

³ 空き家を含めた既存住宅・中古住宅

5 土地利用構想

(1) 土地利用の基本方針

土地利用は、規制するものはしっかり規制する、促進するものはしっかり促進するといった規制と促進の区分を明確にした上で、次の3つの方針を基本として、総合的かつ計画的な土地利用を推進します。

- ①「定住促進が可能な土地利用」
- ②「日常生活に便利な土地利用」
- ③「自然と共生したゆとりある土地利用」

(2) 土地利用の考え方

■ 都市ゾーン

古くから加西の中心として発展してきた既成市街地とその周辺を都市ゾーンとします。既成市街地では宿場町、門前町の面影を残す街並みを次世代に継承するとともに、住宅密集地としての住民のつながりを促進してその全体意思を反映した住環境を整備し、安全・便利で歩いて暮らせるまちの形成を図ります。また、その周辺では、新たな区画整理地区への住宅開発を促進するとともに、宅地化されていない土地の住宅開発を促進します。

■ 農村ゾーン

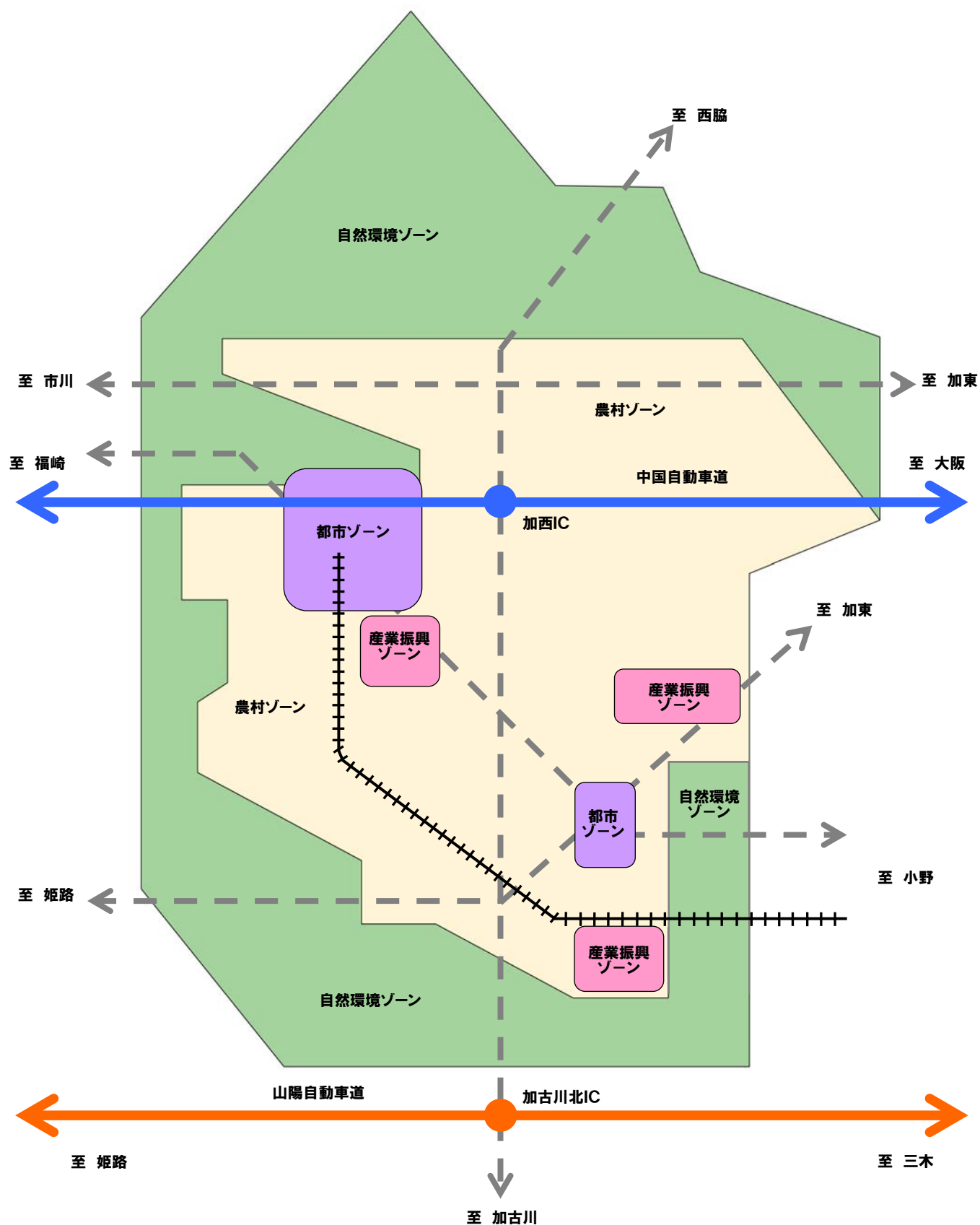
中北部から中南部にかけて広がり、加西の景観を特徴づけている広々とした農地、およびその中に点在する農村集落では、地域産業の基盤である農業を維持促進します。稲作をはじめ上質な果樹野菜の栽培を促進するとともに、農業生産者の担い手を確保し地域住民の定住を促進するため、農村でも住宅が建設できるルールづくりを進めます。

■ 自然環境ゾーン

北部の山林地域および南部の丘陵地では、動植物の生息に適した自然環境を保全するとともに、人と自然が共生する里地里山の整備を進めます。森林が本来もっている機能を回復してそこを源流とする河川流域への水害を未然に防ぐとともに、子どもたちの環境教育でも活用します。また、山間に点在する歴史文化遺産や地域資源の活用を推進します。

■ 産業振興ゾーン（第2次・第3次産業）

計画的に整備された産業団地や新エネルギーの開発適地としての特定用地などを産業振興ゾーンとし、環境や景観に配慮した設置を計画的に推進します。また、そこで操業する企業においても環境を重視しながら、既存産業、企業とのネットワークが形成できる持続発展型の産業振興を図ります。



6 計画の実現に向けて



パートナーシップの視点 パートナーシップによる地域経営

計画を着実に推進し、その実効性を確保するためには、住民一人ひとりが、自主的に受け止め、取り組む必要があります。また、新たな行政課題への対応や社会環境の変革に対応した適切な行政運営を進めていくことが求められています。

（１）多様なパートナーシップの構築

基本目標である、「加西の元気力 加西の良さを活かした元気力の追求」を実現するためには、住民をはじめ、市役所、民間企業、近隣市町、大学などがともにそれぞれの役割を果たしながら、まちづくりを行っていく必要があります。住民参画と公民連携により、加西ならではの住民参画によるパートナーシップの構築をめざします。

（２）健全な市役所経営

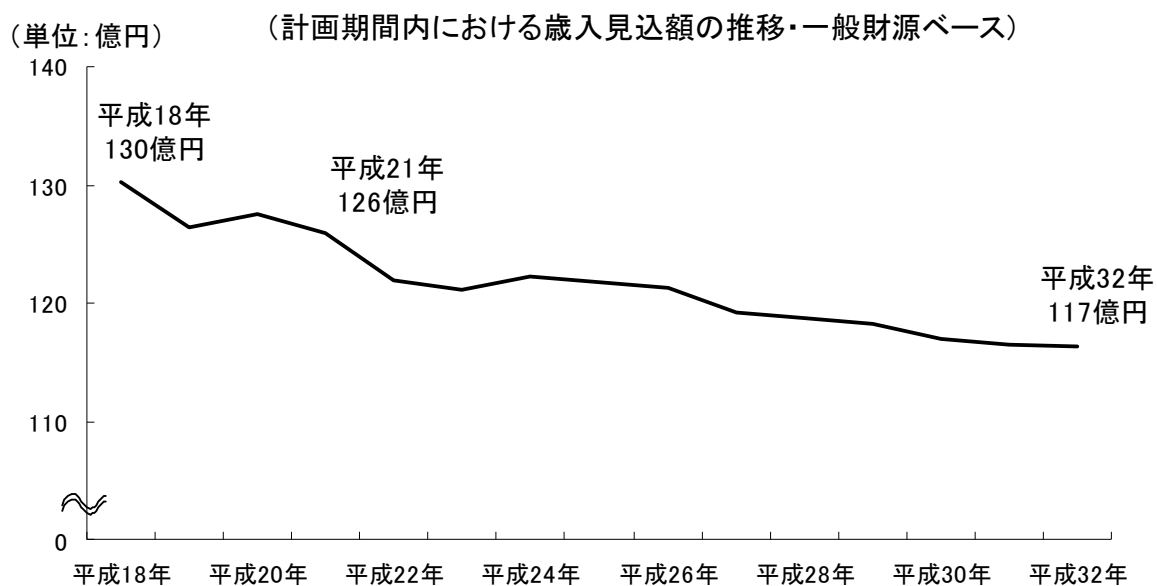
住民が元気力を追求していくためには、何よりもそれをサポートする市役所が元気である必要があります。公共サービスの向上や安定的な行財政運営により、住民満足度の高い健全な行財政運営の確立をめざします。

7 予算編成との連動

(1) 計画期間内における財政見通し

将来人口推計から加西市の歳入額を国県補助金や地方債などの特定財源を除いた一般財源ベースで推計すると、以下ようになります。

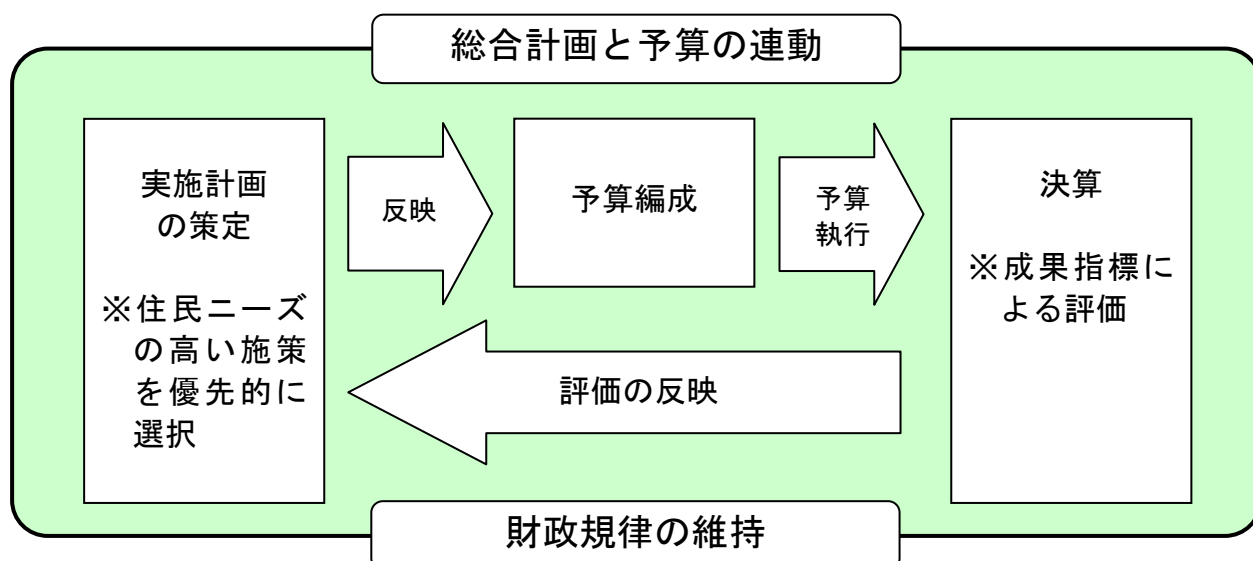
今後、生産年齢人口の減による納税義務者数の減少の理由から、市税収入を始めとする歳入総額も減少する見込みです。



(2) 総合計画と予算の連動

総合計画は、市政運営のための長期的な指針として、すべての基礎となるものです。毎年度の予算は総合計画に基づく実施計画と連動する必要があります。

本計画では、継続的に住民サービスを効率的かつ効果的に実施するため、財政規律を保ちながら、選択と集中によって限られた予算を総合計画に基づき執行できる仕組みを構築します。



8 評価・検証

施策ごとに施策の目的や目標を明かし、その達成度を具体化するため、「目標指標」を設定しました。「目標指標」は、原則として平成22年度を基準値とし、平成27年を中間目標、平成32年を最終目標として定めています。

本計画では「目標指標」を目安に第三者による評価・検証を行い、わかりやすい公会計とともに、その結果を公表し、市の取り組みに反映していきます。

第 3 部 基本計画

ー基本計画の項目説明ー

政策番号 政策名



施策番号 施策名

めざすべき姿

施策における加西市の将来像

課 題

施策における現状と将来に向けての課題

（市民ワークショップ、グループインタビュー、市役所内ワーキンググループからのヒアリング結果、その他市役所各部署からの意見抽出）

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

行政の取り組みの方向性や事業

● 住民の取り組み

目標の実現のために、住民や企業が取り組むこと

目 標 指 標

目標が実現しているかどうかを計る主な指標

※事業毎の目標指標は「実施計画」で定めます。

住民からの提案

市民参画ワークショップ会議による提案

「市民参画ワークショップ提案書」の提案名

関連する個別計画

- 関連する個別計画
施策に関連する市の計画等



めざすべき姿

住民**誰**もが参加しやすい学習機会の提供と学びによる生きがいつくりや学習成果を地域社会の課題解決に**活**かすことができるまちをめざします。

課 題

- ・住民の関心度が高く、新しいニーズに合った講座の開催、多様な学習機会の提供
- ・図書館サービスの機能強化
- ・市民活動リーダーの掘り起こしと養成
- ・まちに芸術文化や音楽があふれる機会の創造

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・公民館を中心に市域をキャンパスとする市民大学を創設します。
- ・図書館に地域交流センターを統合し、課題解決型の情報サービスを充実します。
- ・多様な地域活動団体の連携を促進し、活動拡大と新たな担い手を育成します。
- ・加西の創造力を高めるため、芸術文化活動を支援します。

● 住民の取り組み

- ・公民館等で学び、新しい仲間づくりを行います。
- ・学習によって得た知識を地域に広げる活動を行います。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
市民大学開催数			
図書館利用者登録率	61.9%	65.0%	68.0%
市民文化祭に出演出展した人数			

関 連 情 報

- 関連する個別計画
 - ・加西市教育振興基本計画
 - ・加西市教育行政方針



コ ラ ム 図書館の課題解決型情報サービス





めざすべき姿

若い力を正しく伸ばすため、青少年の健全かつ自主的な活動を推進し、そのための指導者養成と推進環境が整ったまちをめざします。

課 題

- ・子どもの自然体験、生活体験等の充実
- ・青少年健全育成に携わる団体の連携強化
- ・子どもたちが自主的に活動できる拠点づくり
- ・青少年リーダーの養成

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・野外活動や環境学習を契機とした青少年活動を推進します。
- ・子どもたちの多様な体験を通して、仲間づくりや豊かな心を育むとともに、青少年リーダーの育成と支援を行います。
- ・多様な市民活動団体との連携を強化し、組織の活動を広めます。
- ・ボランティアグループの育成、若者のスポーツ活動、文化活動、それらの発表など、活動の場づくりを推進します。

● 住民の取り組み

- ・地域における青少年の役割を考え積極的に活動機会の場をつくれます。
- ・地域における青少年健全育成活動に参加、協力します。
- ・地域のイベントや行事で青少年が活躍できる場を提供します。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
青少年団体イベントの参加者数			
青少年が講師を務める講座数			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・ 青少年のこころ豊かなふるさとづくり

● 関連する個別計画

- ・ 加西市教育振興基本計画
- ・ 加西市教育行政方針



めざすべき姿

健康づくりや体力づくりなどの住民交流の場で、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむまちをめざします。

課 題

- ・住民のスポーツ・レクリエーションの普及
- ・高齢者や障がい者等のスポーツ活動への参加
- ・スポーツ・レクリエーションの技能技術を向上させる指導者の育成

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・既存施設を有効活用し、住民が身近な場所でスポーツに親しめる機会を拡充します。
- ・三世代で参加できる地域の里山ハイク等のイベントを開催します。
- ・高齢者や障がい者を含めた体力づくりや健康づくりを目的としたスポーツ・レクリエーション活動を推進します。
- ・地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を支援します。

● 住民の取り組み

- ・みんなで誘いあって体力づくりやスポーツ活動に取り組みます。
- ・スポーツ活動を通じて積極的に地域交流を図ります。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5年後	10年後
市が所管するスポーツ施設の利用者数			

関 連 情 報

- 住民からの提案
 - ・地域の里山愛好会を結成
- 関連する個別計画
 - ・加西市教育振興基本計画
 - ・加西市教育行政方針



めざすべき姿

出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。

課 題

- ・ 出会いを求める若者の支援策
- ・ 同世代の若者の交流機会の創出

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 若者が信頼のおける知人や友人を介して参加登録できるサポート制度を構築します。
- ・ 職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。

● 住民の取り組み

- ・ 友人知人の紹介によって男女のふれあいの機会を増やします。
- ・ 若者自身が積極的にイベントに参加します。
- ・ 出会いのサポート制度への理解、協力、情報提供を行います。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
出会いのサポート制度利用登録者数			
職域交流事業数			

関 連 情 報

- 関連する個別計画
 - ・次世代育成支援対策行動計画



めざすべき姿

次世代を担う児童生徒が生涯にわたって学び続け、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。

課 題

- ・小中一貫教育校の導入
- ・小学校時の英語教育、I T（情報技術）教育、環境教育の提供
- ・一人ひとりの教育ニーズを把握した特別支援教育
- ・教職員の資質や技能の向上

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・義務教育9年間を通した小中一貫教育を推進します。
- ・小中教員の連携、英語指導助手の配置により、小中学校の英語活動の充実を図ります。
- ・パソコン教室の整備により、児童生徒の情報活用力の向上に努めます。
- ・子どもの成長段階に応じて展開する環境教育カリキュラムを作成します。
- ・小中学校にスクールアシスタントを配置し、特別支援教育の充実を図ります。
- ・総合教育センターを活用し、教職員の資質や技能を向上させるための研修を充実します。

● 住民の取り組み

- ・家庭での自習や規則正しい生活習慣の実践、社会生活に適應できる能力を身につけさせます。
- ・学校との信頼関係を築き、情報共有を行います。

目標指標

指標名	現状（H22）	5年後	10年後
英語指導助手配置数			
パソコン1台あたりの児童数			
学校における環境教育の時間数			

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・加西市教育振興基本計画
 - ・加西市教育行政方針



コラム 小中一貫教育





めざすべき姿

小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる教育環境と、中学校給食の全校実施をめざします。

課 題

- ・ 教育施設の耐震化
- ・ 小中学校の再編
- ・ 給食センターの整備による4中学校への給食導入
- ・ 学校施設の整備と充実

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 鉄筋コンクリート・鉄骨造校舎で耐震性の低い施設から耐震補強工事を行い、改修工事も同時施工します。
- ・ 木造校舎の耐震診断を実施し、早期に耐震補強工事を行います。
- ・ 住民参画による小中学校の再編に向けた計画を策定し、地域の合意を得た地区から順次整備していきます。
- ・ 学校再編計画に応じた給食調理場を整備します。
- ・ 小中一貫教育と個々に応じたきめ細かな指導のために資料、備品、教育機器、講師などの拡充を図ります。

● 住民の取り組み

- ・ 年間を通じて学校行事に積極的に参加します。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
学校耐震化率（鉄筋コンクリート・鉄骨造）	46.8%	98.0%	100.0%
学校耐震化率（木造）	0.0%	100.0%	100.0%

関 連 情 報

- 関連する個別計画
 - ・加西市教育振興基本計画
 - ・加西市教育行政方針



めざすべき姿

学校が家庭や地域との連携を強化して児童生徒の活動や体験の場を確保し、地域の一員として信頼される学校をめざします。

課 題

- ・学校教育活動、教育委員会活動に関する情報提供
- ・家庭の教育力、地域の子育て力の向上
- ・地域の魅力を学校や地域の人から学ぶ機会の創出
- ・高齢者の学校・園行事への積極的参加

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・学校運営協議会⁴や学校公開などを通して地域に信頼される学校づくりを推進します。
- ・児童生徒の問題行動や不登校など、地域と学校、家庭が連携し早期発見・早期解決に努めます。
- ・ゲストティーチャーなどの活用により地域全体で学校教育を支援する体制を整備します。
- ・地域住民のミーティングや交流のため、学校内に地域の大人や高齢者の交流ひろばを設けます。

● 住民の取り組み

- ・年間を通じて学校行事に積極的に参加します。
- ・子どもの通学時や学校園内での見守り活動やワッシュョイスクールに参加協力します。

⁴ 学校運営協議会: 保護者や地域住民が参加して、学校の運営に関する協議をするためにおかれる機関。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
学校評価の公表学校数			
オープンスクール延べ日数			
地域のゲストティーチャーが講師を務める授業数			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・ 地域に開けた学校施設と子どもたちとの交流
- ・ 学校、地域、家庭が協力し合い、地域全体で子育て
- ・ 放課後校庭のプレイパーク化

● 関連する個別計画

- ・ 加西市教育振興基本計画
- ・ 加西市教育行政方針



めざすべき姿

様々な形態、様々な世代の農業従事者が切磋琢磨して加西米や果樹野菜を生産し、加西の一大産業として農業が盛んに営まれるまちをめざします。

課 題

- ・農地の集積化との生産コストの削減
- ・若者や女性をはじめとする新たな農業の担い手の発掘と育成
- ・農業参入希望者と農地所有者とのマッチング
- ・市内外の様々な企業、団体、市民が関わることによる「集落力」の復活

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・認定農業者⁵や新規就農者への農地の流動化を支援します。
- ・神戸大学、加西農業改良普及センター、播磨農業高校などの学術研究機関と連携して、新規就農希望者を対象とした公開講座を開催します。
- ・地元関係機関と協力しながら、農業参入希望者に技術の指導や農地を斡旋する制度を構築します。
- ・生産から加工販売に至る一貫した事業展開など、地域特性を活かした事業を支援します。

● 住民の取り組み

- ・生産者は効率的な農業経営をめざして、大規模農業や集落営農を積極的に推進します。
- ・安心安全な地域の農作物の推奨と地産地消を進めます。
- ・田畑の提供など、担い手を育成するために新規就農希望者や農業後継者、企業等を応援します。

⁵ 認定農業者：農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者。農業生産法人のこと。担い手農業者とも呼ばれる。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
農用地利用集積面積（ha）	241	253	265
認定農業者数（人）	57	62	65

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・若者や女性の新規就農者の発掘・育成
- ・農地の賃貸借と農業経営の構築
- ・米粉を市民に広め、特産品として育てる

● 関連する個別計画

- ・加西市地域水田農業ビジョン
- ・農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- ・加西市農業振興基本計画



めざすべき姿

農産物や技術力などの多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。

課 題

- ・ぶどう等（特産品）の付加価値を高めた活用
- ・地産地消の流通、販路の構築
- ・小規模店舗間の連携と振興
- ・中小零細企業への支援
- ・市内産業の仲介、紹介による新事業の創出
- ・新たな企業の誘致
- ・遠方からの来訪者に対応する宿泊施設

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ぶどう、米粉等の加工品や新品種野菜の栽培等の事業者を支援します。
- ・特産品の情報発信と、直売所やスーパーにおける販売を拡充します。
- ・ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。
- ・中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。
- ・経営革新講座やビジネスマッチング事業を展開します。
- ・若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。
- ・宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。

● 住民の取り組み

- ・加西産品の購入、販売を推奨します。
- ・市内店舗での買い物を推奨します。
- ・ふるさとに誇りと愛着を持って市内外に地域資源を情報発信します。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
加西ブランド認証数	0	20	50
卸売業小売業年間販売額			
製造品出荷額			
市内総生産			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・市内に点在する直売所を観光情報とともに一体運営
- ・加西を紫色のイメージカラーで染める
- ・ITスキルの向上、ビジネスホテルの誘致
- ・加西産のお米を市民に供給!!
- ・野菜（加西産）の美味しいお店をオープン
- ・企業誘致、農作物の販売体制の構築

コ ラ ム 加西ブランド認証



めざすべき姿

老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。

課 題

- ・加西出身学生への地元就職活動推進
- ・女性の社会進出を推進する環境づくり
- ・通勤圏内企業への就労促進
- ・高齢者労働力の活用

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。
- ・新卒者等へ魅力ある市内企業就職情報を提供します。
- ・ハローワークと連携し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。

● 住民の取り組み

- ・子どもたちへ通勤圏内企業への就労を勧めます。
- ・働く高齢者を応援し、就労機会を創造します。
- ・女性が安心して働ける家庭づくりをめざします。
- ・加西に住みながら仕事に通える子どもの将来について家族で話し合います。
- ・地元に戻りたいと考えている若者に積極的に情報を提供します。
- ・市内企業における市民就労率の向上をめざします。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
若者の加西市残存定住率			
市内企業における市民就労率			
公共交通による市外への通勤者数			



コラム ハローワークとの連携





めざすべき姿

住民によって受け継がれた地域歴史資源を、住民が誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着・誇りが生まれる「花かほる石の里かさい」をめざします。

課 題

- ・ 点在する歴史観光資源を線で結ぶ取り組み
- ・ 地域住民が地域歴史資源を活用したまちづくりへの取り組み
- ・ 公共交通利用者をターゲットとする観光振興

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 都会から近い田舎であることの利点や地域資源を活かした観光ツアーを企画し、加西の魅力を情報発信します。
- ・ 特色ある観光を推進するための戦略や仕組みづくりを行うため、住民との協働により観光基本計画を策定します。
- ・ 文化財サポーターや地域文化財を継承する活動を支援します。
- ・ ぶどうをモチーフにしたパープルツーリズムの列車運行を行います。

● 住民の取り組み

- ・ ハイキングやまち歩きなど、市内の観光イベントに参加します。
- ・ 来訪者に対するおもてなしの心を大切にします。
- ・ 指定文化財所有者及び地域住民が文化財の価値を理解し、積極的に保全、活用します。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
文化財サポーター登録者数			
観光まちづくり協会が企画する 観光ツアーの参加者数			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・加西サービスエリアを観光特産品情報の発信拠点に
- ・子どもたちによる地域自慢大会

● 関連する個別計画

- ・（仮）加西市観光基本計画



コ ラ ム パープルツーリズム





めざすべき姿

中心市街地と歴史的街並みが共存する都市として多くの人が買い物などに訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができるまちをめざします。

課 題

- ・市街化区域内の住宅立地促進
- ・土地区画整理事業により整備された宅地への住宅立地促進
- ・歩いて生活できる市街地の環境構築
- ・空き家・空き店舗の活用
- ・美しい街並みを後世に残し活用する取り組みの推進

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・市街化区域内の民間住宅開発を推進します。
- ・消防署跡地等、市所有未利用地の有効活用を図るための周辺整備を行います。
- ・民間活力を得て、土地区画整理地内の住宅化を促進支援します。
- ・北条町駅周辺の中心市街地は、暮らしの機能を支える商業施設の集積化を図ることで、暮らしの場の再生と、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。
- ・空き家、空き店舗情報の収集と登録データの発信により、希望者に物件を紹介します。
- ・北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区⁶や文化財の指定を受け、規制・誘導方策によって市街地の街並みを整備します。

● 住民の取り組み

- ・景観まちづくりの取り組みを通し、街並み保全のルールづくりと、まちづくりに対する新たな担い手を育成します。
- ・住民や地権者が中心になって地域の景観や住環境の整備を行っていきます。
- ・空き家や空き店舗を活用した事業を展開します。
- ・北条の街へ出掛けます。

⁶ 景観形成地区(指定): 兵庫県の「景観の形成等に関する条例」(景観条例)に基づく指定制度の一つ。指定対象となる優れた景観の保全および維持または創造を目的とし、「歴史的景観形成地区」「住宅街等景観形成地区」「まちなか景観形成地区」「沿道景観形成地区」に種別され、個々の地区に応じた景観形成基準(景観ガイドライン)が定められている。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
土地区画整理地内の住宅立地件数			
市街化区域内の商業店舗立地件数			
景観形成地区指定			

関 連 情 報

- 関連する個別計画
 - ・加西市都市計画マスタープラン
 - ・加西市住宅マスタープラン

コ ラ ム 歩いて生活できる環境構築



めざすべき姿

地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。

課 題

- ・地縁者、新規居住者の受け入れ支援
- ・ストック住宅⁷や空き家の活用
- ・子育てファミリー層の呼び込み
- ・定住促進を目的とする住まい情報の発信

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・県の特別指定区域制度⁸における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。
- ・空き家情報の収集と登録データの発信により、希望者に物件を紹介します。
- ・若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。
- ・住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信を充実させます。

● 住民の取り組み

- ・地域の空き家情報の収集に協力します。
- ・特別指定区域制度を利用し、住民参加による土地利用計画の作成に取り組みます。
- ・田舎暮らしを希望する新規居住者の受け入れを進めます。

⁷ スtock住宅: 空き家を含めた既存住宅・中古住宅。

⁸ 特別指定区域制度: 市町及びまちづくり団体が土地利用計画を策定し、集落区域及び特定区域内にある区域、公共施設が整備された区域において、地縁者の住宅や既存工場の用途変更など、条例で定めた一定の用途の開発が可能となる兵庫県の制度。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
新規居住者地区人口			
空き家バンク ⁹ による定住件数	3	10	20
加西市若者世帯持家促進制度 の受給者数			

関 連 情 報

● 関連する個別計画

- ・加西市都市計画マスタープラン
- ・加西市住宅マスタープラン

⁹ 空き家バンク: 空き家の有効活用を通して、市民と都市住民の交流拡大および定住促進による地域の活性化を図るため、空き家情報の提供を行うもの。



めざすべき姿

過度な車社会から脱却し、誰もが公共交通を利用することによって移動することができるまちをめざします。

課 題

- ・ 車を利用できない高齢者等の移動手段の確保
- ・ 誰もが利用しやすいバス交通網の構築
- ・ 北条鉄道の運行維持
- ・ 近隣市町や京阪神地域への利便性の向上
- ・ 過度な車社会からの脱却

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ コミュニティバスの再編と住民運営バス¹⁰等の導入を進めます。
- ・ 民間事業者が運行する広域的生活維持路線を維持します。
- ・ 時刻表や運行ルートのわかりやすい情報を提供します。
- ・ 北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。
- ・ 通勤通学圏の拡大を図るため、J R山陽本線等への接続向上を図ります。

● 住民の取り組み

- ・ 地域の維持発展に必要な公共交通を育てるため、できるかぎり車の代わりにバスや北条鉄道を利用します。

¹⁰ 住民運営バス: 地域住民が主体的に運営に関わるバス。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
コミバス等の利用者数（千人）	14.7（H21）	17.6（2 割増）	22.0（5 割増）
北条鉄道の利用者数（千人）	306（H21）	300（維持）	300（維持）

関 連 情 報

- 住民からの提案
 - ・神戸方面への公共交通の充実
- 関連する個別計画
 - ・加西市公共交通総合連携計画
 - ・北条鉄道中期経営計画



コ ラ ム 住民運営バス





めざすべき姿

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが地域の住環境について話し合うことで、安心して快適な住民生活ができる環境をめざします。

課 題

- ・安心して遊べる公園づくり
- ・安心して通行できる道路・橋梁の整備
- ・地籍等の土地情報の調査
- ・段差の解消等、誰もが利用しやすい公共施設の整備

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・都市計画決定を行っている未整備の公園について再評価し、計画的な整備を行います。
- ・市街化区域内の緑地の保全を目的とするために、玉丘古墳群を都市公園に編入します。
- ・自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。
- ・橋梁の点検を行い、長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。
- ・地域の土地情報を正確に把握するために地籍調査事業¹¹を拡充します。
- ・公共施設等のバリアフリー¹²化やユニバーサルデザイン¹³の導入を推進します。

● 住民の取り組み

- ・誰もが気持ちよく利用できるよう、公園内のマナーを守ります。
- ・市内の公園を積極的に活用します。
- ・市道の景観維持のため草刈り等軽微な作業は地域で行います。
- ・身近な道路の損傷や障害物などについて、市などの道路管理者に報告します。
- ・建物や施設の整備にあたってはバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めます。

¹¹ 地籍調査事業:「国土調査法」に基づき、市町村が実施主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界、面積を正確に調査し、測量を行い、地図・簿冊に作成するもの。※「一筆」は、土地の所有権等を公示するために、人為的に分けた区画のこと、土地取引の単位。

¹² バリアフリー:障がい者や高齢者等が社会生活に参加する上で支障となる物理的・精神的な障壁を取り除くための施策、具体的に障壁を取り除いた状態。

¹³ ユニバーサルデザイン:文化・言語・国籍の違い、年齢・性別といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
都市公園面積			
歩道設置距離数			
地籍調査済み自治会数			

関 連 情 報

- 住民からの提案
 - ・花や樹木を用いた沿道整備
- 関連する個別計画
 - ・加西市都市計画マスタープラン



コラム 都市公園への編入





めざすべき姿

すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。

課 題

- ・定年後の社会参加促進、交流機会の創出
- ・地域の主体的な社会参加事業の推進
- ・地域人材を活かした介護予防活動の推進
- ・高齢者の介護予防への取り組みの強化
- ・高齢者自身の介護予防意識の向上
- ・障がい者の社会参加促進

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・地域の介護予防リーダー¹⁴の養成とその活動を支援します。
- ・老人クラブ活動等、高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。
- ・障がい者の集いの場となるサロン事業¹⁵を支援します。
- ・定年退職世代を対象にしたコミュニティビジネス講座を開催します。
- ・高齢者の心身の状態の把握に努め、状況に応じた介護予防事業を実施します。
- ・市役所内就労支援や障がい者雇用の拡充を図るための就労フェアを開催します。

● 住民の取り組み

- ・高齢者自身が自立の気持ちと生きがいを持って積極的に社会参加を行い、持っている能力の活用を図ります。
- ・自治会などが中心となって地域活動参加や声かけを行い、高齢者の介護予防や健康づくりの活動を行います。
- ・企業や事業者は障がい者の雇用を推進します。

¹⁴ 介護予防リーダー：高齢者がいつまでも元気にいきいきと暮らせるよう、地域の中で介護予防を実践・普及する人。

¹⁵ サロン事業：会食、レクリエーション、介護予防、仲間づくりを行う地域サロン（ふれあいいきいきサロン）。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
老人クラブ自主事業参加者数			
介護予防リーダー数			
一般就労移行者数 ¹⁶			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・高齢者ための園芸交流広場を開設
- ・高齢者の地域貢献、老人会による生産性の向上

● 関連する個別計画

- ・加西市地域福祉計画
- ・加西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- ・加西市障害者基本計画・障害福祉計画

¹⁶ 一般就労移行者数:福祉施設を退所し、一般就労に移行した人の数。



めざすべき姿

健康に対する意識づけを行い、住民一人ひとりの自主的で健康づくりを支援し、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。

課 題

- ・健康診査の受診率向上による疾病の早期発見と予防
- ・生涯現役で暮らせるような健康づくり行動¹⁷の推進
- ・こころの健康¹⁸を保ち、元気で暮らせるような支援体制の構築
- ・食に対する意識の向上、望ましい食生活による生活習慣の確立

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・特定健診やがん検診等の受診率向上のための地域体制を構築します。
- ・健診後の結果を生活に活かせるよう指導相談体制を充実させます。
- ・地域への健康づくりを目的とした運動の普及を支援します。
- ・こころの健康を維持するための相談体制の充実や専門機関との連携を強化します。
- ・健診や教室を通じて乳児期から望ましい食習慣確立のための支援を行います。

● 住民の取り組み

- ・健康づくりにおける運動の重要性を認識し、自分の健康は自分で守ることを心がけます。
- ・各種健診の必要性を知り、積極的に受診し、健康づくりに努めます。
- ・自らの健康に関心を持ち、生活習慣の改善に積極的に取り組みます。
- ・一人ひとりが自分自身や家族友人の心の健康に関心を持ちます。
- ・子どもに正しい食習慣を身につけさせます。
- ・食べ物を扱う事業者は、食育¹⁹に関する情報を積極的に発信します。

¹⁷ 健康づくり行動:主体的に取り組む健康づくりに向けた行動。

¹⁸ こころの健康:自分の感情に気づいて表現できること(情緒的健康)、状況に応じて適切に考え、現実的な問題解決ができること(知的健康)、他人や社会と建設的でよい関係を築けること(社会的健康)。

¹⁹ 食育:生涯を通じた健全な食生活の実現や食文化の継承、健康の確保などが図れるよう、食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断を身につけるための学習などの取り組み。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5年後	10年後
がん検診受診率	胃 12.6% 大腸 22.4% 肺 28.2% 子宮 13.3% 乳 11.6%	全て 20%以上	全て 30%以上
特定検診受診率			

関 連 情 報

- 関連する個別計画
 - ・加西市食育推進計画
 - ・健康かさい21



めざすべき姿

地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。

課 題

- ・加西病院における医師の負担軽減のための医師確保や安易な受診の抑制
- ・急性期医療終了後の後方医療施設の充実による地域完結型医療体制²⁰の確立
- ・地域医療の中核である加西病院の経営基盤強化
- ・医療から介護に至る切れ目ないサービス提供体制の構築
- ・産婦人科、小児医療の充実による子育てしやすい環境の整備
- ・住民が地域医療を支える意識の醸成

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・加西病院の高度医療を充実し、医療者を確保します。
- ・回復期、慢性期医療施設の誘致及び在宅医療を充実します。
- ・診療所との地域連携によるネットワーク化を進めます。
- ・産科医と小児科医の確保に努めます。
- ・退院後の患者の状況把握を行い、必要に応じた適切な対応を行う組織を構築します。

● 住民の取り組み

- ・市民フォーラム、ホスピタルフェア等の開催による医療に対する理解と支援意識の醸成に努めます。
- ・真に受診が必要な重篤患者が受診できるよう、安易な受診を抑制します。
- ・地域のかかりつけ医を持ちます。

²⁰ 地域完結型医療体制:治療の全てを一つの医療機関で行う「病院完結型医療」に対し、「地域」を1つの病院に見立て、それぞれの医療施設が役割分担し、切れ目のない医療を行うための体制。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
病院・診療所数			
一般・療養病床数			

関 連 情 報

- 住民からの提案
 - ・北播磨地域に急病センターを設立する
- 関連する個別計画
 - ・市立加西病院改革プラン



コ ラ ム 診療所との地域連携によるネットワーク化





めざすべき姿

すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。

課 題

- ・ 高齢者や障がい者等に対する在宅生活支援の充実
- ・ 地域の見守り体制を強化するためのネットワークづくり
- ・ 高齢者、障がい者の権利擁護
- ・ 地域包括支援センター、障害者（児）相談支援センターの周知と利用促進

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 市、地域、社会福祉協議会の三者が協力しながら小地域福祉活動²¹を推進します。
- ・ 高齢者や障がい者を介護する家族等を支援し、介護にかかる負担を軽減します。
- ・ 高齢者や障がい者に必要な日常生活上の支援を行い、住み慣れた地域で生活が続けられるよう総合的な支援体制を強化します。
- ・ 高齢者や障がい者の権利擁護のために関係機関と連携し、入所措置や成年後見制度²²の適用等、適切な支援を行います。

● 住民の取り組み

- ・ 地域のつながりの継続と強化による高齢者や障がい者の見守りを行います。
- ・ いきいき委員会やはつらつ委員会などの小地域活動を活用します。
- ・ 援助が必要な高齢者や障がい者の発見に努めます。
- ・ 地域で生活する障がい者に対して偏見のない理解を深め、手助けが必要な時は積極的に支援します。

²¹ 小地域福祉活動:住民の顔が見える日常生活圏を基礎に行われるさまざまな福祉活動の総称。地域の福祉課題に対して、みんなで取り込む活動。

²² 成年後見制度:判断能力の不十分な人を保護するため、一定の場合に本人の行為能力を制限するとともに本人のために法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選任する制度。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
介護サービス受給者のうち在宅介護者の割合（高齢者）			
介護サービス受給者のうち在宅介護者の割合（障がい者）			

関 連 情 報

● 関連する個別計画

- ・加西市地域福祉計画
- ・加西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- ・加西市障害者福祉計画・障害福祉計画
- ・加西市次世代育成支援行動計画



めざすべき姿

災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。

課 題

- ・高齢者、障がい者等の災害時要援護者対策
- ・災害危険箇所と避難場所の周知徹底
- ・高齢者等の交通事故件数の抑制
- ・防犯パトロール等、地域ぐるみの治安維持

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・地域の高齢者、障がい者の居住地を把握し登録することで、的確かつ迅速な救助活動を行います。
- ・災害時の一時的な避難場所や活動拠点となる公共施設の耐震化を推進します。
- ・河川・ため池パトロールを実施し、危険箇所については早期の修繕を行います。
- ・警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度²³を推進します。

● 住民の取り組み

- ・自主防災訓練等を通じて地域の危険箇所や避難場所の確認を行います。
- ・日頃から様々な災害を意識し、避難場所など災害情報の入手に努めます。
- ・見守り隊やワッシュョイスクールに参加します。
- ・地域でのあいさつや声掛けを積極的に行い、地域のコミュニティづくりに努めます。

²³ 免許返納制度:加齢に伴う身体能力や認知能力の低下により、運転に不安を感じている高齢運転者のうち、運転を継続する意思がなく、運転免許証を返納したい人のために、自主的に運転免許取消しの申請ができる制度。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5年後	10年後
既存住宅の耐震化率	55.0%	65.0%	90.0%
自主防災組織数（事業所含む）			

関 連 情 報

● 関連する個別計画

- ・ 加西市地域防災計画
- ・ 加西市水防計画
- ・ 加西市国民保護計画
- ・ 災害時要援護者避難支援計画



めざすべき姿

家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。

課 題

- ・子育てに悩みを抱える家庭に対する相談体制の充実
- ・放課後児童対策の充実
- ・多様な保育ニーズへの対応

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・子育て情報の集約化と総合的な窓口の整備により相談機能を充実します。
- ・妊娠初期からの相談支援体制を整備し、乳幼児健診を充実します。
- ・学校との連携を強化し、学童保育の放課後児童健全育成事業²⁴を拡充していきます。
- ・幼稚園・保育所の施設統合と民間活用を進め、保育サービスを拡充します。
- ・申請手続や保育時間の延長等、住民ニーズに対応した保育サービスの見直しを進めます。
- ・住民ニーズに合わせて休日保育²⁵、病児・病後児保育²⁶等の新たなサービスを実施します。

● 住民の取り組み

- ・子育てひろばや子育て学習センターに気軽に親子で参加し、情報交換を行います。
- ・子ども会活動など地域の子ども同士がふれあう機会を拡充します。
- ・地域の子どもをあたたく見守り、子育て家庭を応援していきます。
- ・保育リーダーやプレイリーダーの養成講座に参加します。
- ・乳幼児健診や相談の機会を活用し、必要な発達を促す環境づくりを行います。

²⁴ 放課後児童健全育成事業:小学校に就学しているおおむね十歳未満の児童で、保護者が仕事等により昼間家庭にいない人に、授業終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、健全育成を図る事業。

²⁵ 休日保育:保育園等が休みとなる日曜日・祝日に、仕事等により家庭で保育できない保護者に代わって子どもを預かる事業。

²⁶ 病児・病後児保育:保育所等に通う子どもが病気または病気の回復期にあり、集団保育が困難でかつ保護者の仕事等により家庭での保育が困難な場合に、一時的に預かる事業。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
学童保育設置箇所数			
休日保育実施園数	0 園	1 園	1 園
病児・病後児保育実施園数	0 園	1 園	1 園

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・ 保育サービスの見直しと保育の申請手続を簡素化
- ・ 地域全体で子どもたちを見守る仕組み
- ・ 子育てのための地域組織づくり
- ・ 小児ワクチンの助成
- ・ 保育園での病児保育のできるスペースの設置
- ・ 子どものために公共施設を有効活用
- ・ 保育サービスの充実による人口増対策

● 関連する個別計画

- ・ 次世代育成支援対策後期行動計画
- ・ 健康かさい 21



めざすべき姿

地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。

課 題

- ・里地里山²⁷整備の推進とその維持活用
- ・自然との共生のための農林業の環境改善（ため池、河川、人工林、水田）
- ・防災のための山・田・池などの保水力の維持
- ・有害鳥獣による農作物への被害への対策
- ・耕作放棄地の増加への対応

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・住民参加による地域の里山整備を支援します。
- ・企業や都市住民を募り、里地里山整備を通じた相互交流を進めます。
- ・市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、その環境的意義や経済的価値を示し、保全、回復と利活用を推進します。
- ・老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。
- ・有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図り、防御柵の設置などを進めます。
- ・不在地主の把握と利用促進のための賃貸借を斡旋する窓口を一本化し、耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。

● 住民の取り組み

- ・集落単位の里山や田畑やため池の整備に取り組みます。
- ・耕作放棄地を抑制するため、農地の有効活用を図ります。

²⁷ 里地里山：都市域と原生的自然との中間に位置し、様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域で、集落をとりまく人為的に維持された森林と、それらと混在する農地、ため池等で構成される。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
里山整備箇所及び面積			
危険ため池改修箇所数			
有害鳥獣被害額	27, 284 千円	26, 000 千円	25, 000 千円
耕作放棄地面積	16ha	14ha	12ha

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・農地の賃貸借と農業経営の構築
- ・里山整備と腐葉土基地を登録ボランティアで運営
- ・田畑復活を考える会を立ち上げる

● 関連する個別計画

- ・加西市環境基本計画
- ・加西市生物多様性地域戦略



めざすべき姿

地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。

課 題

- ・後世に継承すべき地域資源の再発見と活用
- ・景観を損ねる開発行為の抑制
- ・緑あふれる住環境の推進

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・緑のカーテン²⁸コンテストや花咲くまちづくりを推進します。
- ・有形無形を問わず、地域にある自然的文化的遺産（お宝）探しや伝承等の発掘を行い、その成果を活用します。
- ・将来に伝えたい自然、街並みの選定や写真展、学習会、ウォーキング等のイベントを開催します。
- ・地域の景観と調和した広告物の表示に努めます。
- ・開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。

● 住民の取り組み

- ・市内の文化財や伝統文化にふれる機会を増やし、歴史的な遺産を後世に受け継いでいきます。
- ・緑のカーテンや花壇づくりに積極的に取り組みます。
- ・ふるさとの森や緑の維持管理に努めます。
- ・良好な街並みや景観の形成に努めます。
- ・身近な木々や草花を大切にします。
- ・違法な開発行為を未然に防ぎます。

²⁸ 緑のカーテン:植物を建築物の外側に生育させることで、建築物の温度上昇抑制を図る省エネルギー手法。または、そのために設置される、生きた植物を主体とした構造物。身近なところから CO2 削減に貢献できる取り組みとして、加西市では平成 21 年から「緑のカーテンコンテスト」を実施中。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
再発見する学習会の開催数			
緑のカーテンコンテスト参加者数	21	30	50
住民ボランティアによる 植栽花壇数			

関 連 情 報

- 住民からの提案
 - ・彼岸花のまちづくり
 - ・花咲く街角づくり
- 関連する個別計画
 - ・加西市環境基本計画



コ ラ ム 加西の景観





めざすべき姿

加西で生産した太陽光などの再生可能エネルギーを、加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。

課 題

- ・再生可能エネルギーの活用（エネルギーの地産地消）
- ・スマートグリッド²⁹の実現
- ・環境に配慮した資材の利用促進
- ・自転車利用の促進
- ・二酸化炭素排出量取引³⁰と環境ビジネス³¹の定着

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・公共施設における太陽光熱等の発電システムの導入を推進します。
- ・住宅用太陽光発電システムの設置を促進支援します。
- ・公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。
- ・防犯灯等、公共施設の照明をLED照明に順次切り替えます。
- ・市街地において、小規模分散型の駐輪施設や駐輪可能施設を整備します。
- ・民間による環境技術、新製品開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。

● 住民の取り組み

- ・企業においてISO14001³²やエコアクション21³³を積極的に取得します。
- ・環境負荷を軽減する技術の開発や商品の製造及びサービス提供に努めます。
- ・公共交通や自転車の利用を進めます。
- ・自然エネルギー活動の利用を促進します。
- ・省エネに努めます。

²⁹ スマートグリッド:省エネとコスト削減、信頼性と透明性を向上させるため、人工知能や通信機能等により電力供給を自動的に調整する機能を持たせ、最適化できる電力網。

³⁰ 排出量取引:各企業、国等が温室効果ガスを排出できる量を定め、排出枠を超えた部分を、排出量が少ないところから買うことで、削減したとみなすことができる制度。

³¹ 環境ビジネス:環境負荷を軽減する装置や技術、商品の開発・製造及び環境保全型社会の構築に役立つサービスの提供など、環境に関してあらゆる分野にまたがる横断的なビジネス。

³² ISO14001:国際標準化機構の、環境マネジメントに関する国際規格で、企業活動、製品およびサービスの環境負荷の低減など継続的な改善を図る仕組みを構築するための要求事項を規定したもの。

³³ エコアクション21:全ての事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取り組みを行い、継続的に改善し、結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドライン。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
公共施設への太陽光発電設備導入	0kw	50kw	250kw
住宅用太陽光発電設備導入件数			
ISO・エコアクション 21 取得件数			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・ソーラーパネルの設置
- ・ソーラー発電所を鶴野飛行場跡地に

● 関連する個別計画

- ・加西市環境基本計画
- ・加西市地域新エネルギービジョン
- ・加西市地球温暖化対策地域推進計画
- ・エコアクション 21



めざすべき姿

安心安全で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で人が元気に暮らせるまちをめざします。

課 題

- ・ 事故や災害に備えた上下水道施設の計画的な耐震化や更新
- ・ 水洗化率の向上
- ・ 上下水道事業経営の健全化
- ・ 雨水の処理対策と利活用

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 上下水道の施設や設備について費用の平準化を図りながら計画的に耐震化を推進します。
- ・ 下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。
- ・ 民間活用による水道事業の効率化、安定化を進めます。
- ・ 効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。
- ・ 公共施設や公道に雨水処理施設設置や透水性舗装を推進します。

● 住民の取り組み

- ・ 水道に対する理解を深め節水を心掛けます。
- ・ 未接続世帯においては早期の下水道接続を心掛けます。
- ・ 河川の水質浄化のため、適切な排水処理に努めます。
- ・ 雨水の利活用に努めます。

目標指標

指標名	現状（H22）	5年後	10年後
水道管路耐震化率	78.0%	82.0%	85.0%
水洗化率	76.1%	90.0%	92.0%

関連情報

- 関連する個別計画
 - ・生活排水処理計画



コラム 雨水の利活用





めざすべき姿

資源再利用の手段が住民に情報提供され、リサイクルをすることでゴミを減らすことが当たり前になっているまちをめざします。

課 題

- ・ゴミの発生を少なくする仕組みの構築
- ・ゴミ処理の効率化と適正化
- ・資源ゴミを循環させる仕組みの構築

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・レジ袋の有料化や無料配布の中止、マイバッグ運動を推奨する事業者の割合を増やします。
- ・民間活用によるゴミ処理の効率化、適正化を進めます。
- ・ゴミ処理の広域化を検討します。
- ・バイオマス資源の生産から回収、利用普及までの取り組みを拡充します。

● 住民の取り組み

- ・マイバッグの利用などレジ袋の減量に努めます。
- ・ゴミの廃棄についてはルールを守り正しく分別します。
- ・各種団体等による資源ゴミの集団回収に協力します。
- ・間伐ボランティアの活動に協力、参加します。
- ・リサイクル製品を積極的に利用します。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
加西市レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定の締結事業者数			
市民 1 人あたりのゴミ排出量			
ゴミのリサイクル率			

関 連 情 報

- 住民からの提案
 - ・ 廃油回収
 - ・ B D F 車両の導入
- 関連する個別計画
 - ・ 加西市環境基本計画
 - ・ 加西市バイオマスタウン構想
 - ・ 加西市地域新エネルギービジョン
 - ・ 加西市地球温暖化対策実行計画
 - ・ 加西市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画



コ ラ ム 加西市レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定





めざすべき姿

誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、住民と企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。

課 題

- ・ 環境ビジネスと連携した環境学習機会の創出
- ・ 環境問題や環境学習に対する関心と理解
- ・ 学校の環境学習支援

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 親子で参加できる環境学習を推進します。
- ・ 教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。
- ・ 環境に配慮したまちづくりをテーマとして、住民と事業者を交えた定期的な学習会を開催します。
- ・ 学校や住民団体、NPO等、様々な主体により取り組まれた環境学習のノウハウを、他の学校や団体が活用できるよう支援します。
- ・ 環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。

● 住民の取り組み

- ・ 地域の美化活動に積極的に参加します。
- ・ 隣近所に配慮しながらお互いの生活環境を良好に保ちます。
- ・ 様々な学習機会を通して地域の環境保全に努めます。
- ・ 環境家計簿³⁴などを利用して家庭からの二酸化炭素排出量を再認識します。

³⁴ 環境家計簿: 日常生活で、どの程度の負荷を地球環境に与えているのかを計る方法として、エネルギー消費をCO2の重さに換算して計算するもの。ひと月に一度、エネルギーの領収証の値を入力すると、家庭のエネルギー使用量とそれに伴うCO2排出量が記録される。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
公民館における環境学習の開催時間数			
環境学習リーダー数			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・遊びから学ぶ環境学習
- ・河川清掃、廃油回収、ソーラーパネルの設置
- ・ふるさとの川と里山を守る
- ・豊かな自然教育と定住促進

● 関連する個別計画

- ・加西市環境基本計画
- ・加西市地球温暖化対策実行計画
- ・加西市地域新エネルギービジョン
- ・加西市教育振興基本計画
- ・加西市教育行政方針



めざすべき姿

地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。

課 題

- ・地域づくりの担い手やリーダーの発掘と育成
- ・住民参加による政策形成
- ・行政運営の透明性の確保
- ・情報発信の拡大とわかりやすい市政情報の提供

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。
- ・自治基本条例³⁵等の制定によって地域協議会³⁶の位置づけや行政の支援体制を構築します。
- ・自主的な地域づくりのために、専門家や専門職員を派遣します。
- ・市民から寄せられる提案・要望・意見に対する回答について、ホームページを活用して住民との情報共有を図ります。
- ・多様な情報伝達手段を活用します。

● 住民の取り組み

- ・住んでいるまちに興味を持ち、まちづくり活動に参加します。
- ・得意分野を地域に還元します。
- ・地域の様々な組織や団体は、相互に連携し合い協力していきます。
- ・市政運営や市の財政状況に関する関心を持ち、理解を深めます。
- ・懇談会や意見募集など様々な方法により、意見を述べます。

³⁵ 自治基本条例:住民自治に基づく自治体運営の基本原則を定めたもの。地域課題への対応やまちづくりを誰がどんな役割を担い、どのような方法で決めていくのかを文章化し、基本ルールを定めたもの。

³⁶ 地域協議会:住民と行政の協働の場として設定された会議。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
NPO ³⁷ 数			
ボランティア活動希望登録者数			
地域協議会設置数			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・地域で考え、地域で行動する「地域会議」を設立
- ・地域の力を発揮できるコーディネート機関を設置
- ・（仮）人材登録センターで、まちの元気を創出
- ・市民が市政に関心を持ってもらうために
- ・地域組織・市民グループの連携強化

● 関連する個別計画

- ・市民参画都市宣言

³⁷ **NPO**: (Non Profit Organization) 非営利活動団体。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称。



めざすべき姿

家庭、学校、職場、地域において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できる
こころ豊かな社会をめざします。

課 題

- ・女性の社会進出とワーク・ライフ・バランス³⁹の推進
- ・国際交流活動や日本語学習活動に対する意識と理解
- ・在住外国人のための多言語による生活支援
- ・お互いに思いやる人権意識の向上

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・DV（ドメスティック・バイオレンス）⁴⁰等、男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。
- ・女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。
- ・男性の家事・育児・介護参加を推進します。
- ・在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進します。
- ・学校・家庭・職場など、あらゆる機会を通じて多様な人権活動を啓発します。

● 住民の取り組み

- ・教養と連帯感に根ざした実践力を高め、男女共同参画社会の実現に向けて活動します。
- ・自治会女性役員の登用を進めます。
- ・性別による固定的役割意識を見直します。
- ・異なる歴史や文化を尊重します。
- ・市が開催する国際交流事業に参加協力します。
- ・自分を大切にするとともに、他人も大事にする人権感覚を育てます。

³⁸ ダイバーシティ: 多様性のこと。

³⁹ ワーク・ライフ・バランス: 仕事と生活の調和。住民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択、実現できること。

⁴⁰ DV(ドメスティック・バイオレンス): 同居関係にある配偶者や内縁関係や両親、子、兄弟、親戚などの家族から受ける家庭内暴力のこと。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
女性就労者数			
市の女性管理職の登用率	7.0%	15.0%	25.0%
自治会女性役員の登用率			
男女共同参画協定事業所数	0	3	5
語学教室受講者数			
公共施設における 多言語化対応施設数			

関 連 情 報

● 住民からの提案

- ・各自治会で市民参画・男女参画の啓発を
- ・外国人の視点を入れた安心・安全のまちづくり

● 関連する個別計画

- ・男女共同参画都市宣言



めざすべき姿

次世代への負担を増やさない納税者の視点にたち、住民満足度の高い市政運営をめざします。

課 題

- ・ 民間活用を踏まえた適正な人員配置の実施
- ・ 職員の人材育成と意識改革
- ・ 行政サービスの民間活用
- ・ 広域的な自治体連携
- ・ 施設の計画的な更新
- ・ 総合計画に基づく事業評価と予算との連動
- ・ 歳入確保と収納率の向上

実現のための取り組み

● 行政の取り組み

- ・ 財政健全化のための目標値を設定し、予算の段階から財政健全化に向けての取り組みを行います。
- ・ 資産の有効活用や処分も含め、老朽施設更新計画を進めます。
- ・ 公共料金の収納体制を強化し、納付機会や利便性の向上を図ります。
- ・ 新たな定員適正化計画を策定し、必要な部門に職員を重点配置します。
- ・ 職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。
- ・ 民間活力の導入を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。
- ・ 他の自治体との協力や各部門間の連携により、圏域全体の効率的な行政サービスの提供をめざします。

● 住民の取り組み

- ・ 行政サービスの効果とコストの監視に努めます。
- ・ 税金の使い道について理解と関心を深めます。

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5 年後	10 年後
職員研修成果発表回数			
広域事務事業の件数			
基金残高			
市債残高			
実質公債費比率			

関 連 情 報

- 関連する個別計画
 - ・ 財政再建推進計画
 - ・ 行政経営改革大綱